

には見事な風紋が見られ、所々雪庇があった。小屋へ13^h40^m到着。(中略)水場の発掘にかかり、ここぞと思う所を約2m掘り下げ、ほぼそれらしきものを発見した。ボール紙のパイプを2本つなぎ合わせてトイを作る。つぎはキジ場作り。小屋の東方約100mの所に笠、穂高、乗鞍等北アルプスが一目で望める白亜の大トイレ完成!!炊事はプロパンガスが快調で大助かり。18^h30^mトランシーバー交信できず、19^hすぎ夕食をすます。小屋の中はローソク2本だけの照明であるが、なかなか乙なもの。21^h30^mの交信からうじて通ず。気温-10.5°C(22^h) (松井)

学会だより

東京大学理学部天文学教室教授公募

1. 専門分野……天文学
2. 就任時期……昭和44年4月1日予定
3. 提出書類……履歴書、研究業績リスト、推薦書(他薦の際)
4. 公募締切……昭和44年1月15日
5. 宛先……(〒113)東京都文京区弥生2-11-16
東京大学理学部天文学教室主任 藤田良雄

SAM 夏の研究会集録(1968)

第8回のSAM研究会集録ができました。150頁、頒価350円。希望者は東京天文台(東京都三鷹市大沢)松波直幸宛お申し込み下さい。内容は次の通りです。

恒星の分布と銀河系の構造: 総論(松波), 早期星(横尾, 今川), セファイド(高瀬)

星団: 散開星団の統計(高橋), 球状星団の光度函数, 年令と重元素量(下田), 球状恒星系の分布(清水)

星間物質: H II領域の温度分布(磯部), 星間空間の水素分子(西村), 電波観測(森本)

銀河: 光度分布と距離(高瀬), 光度と質量分布(横尾), Non-circular Velocity Field(小暮, 登谷), Active Galaxies(小暮), 銀河核からの赤外輻射(大谷), Seyfert Galaxies(作花), QSSの進化(田原), 宇宙電波源の電波スペクトル(若松)

力学理論: 総論(大木), 扁平銀河の安定(藪下), 渦状構造理論(宮本), 恒星系 n 体問題(堀), 揺動力(清水)

その他: 微光天体の分光観測装置(石田), シュミット望遠鏡計画についての討論のまとめ, など。



発売中

東京天文台編
A6・五〇〇円

44年版

理科年表

最も権威ある科学のデータブック!

内容

暦部/天文部(太陽系/恒星/雑)/気象部/物理化学部(単位/元素/物性/熱/音/光/電磁気/原子/分子/原子核/雑)/地学部(地理/電離層/地質及び鉱物/地磁気及び重力/地震) 附録

科学知識として日常に必要ないろいろの定数・資料を暦・天文・気象・物理化学・地学の各分野にわたって完全に集約した権威ある書で、中・高校・大学生の学習に理・工・農・医の諸分野の関係者、研究者・技術者の実務に活用される実用データブックです。

M 丸善

東京・日本橋/振替東京5番